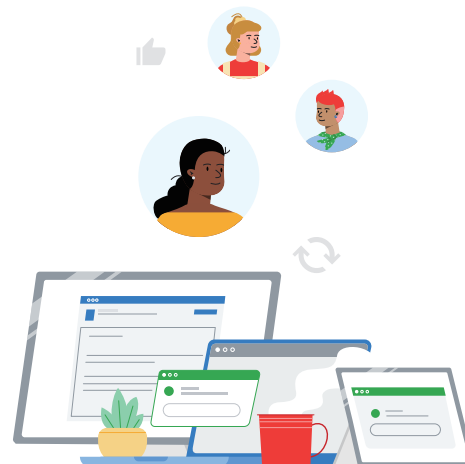


# 最新の OS で学校の デバイス全体を改善

ChromeOS の新バージョンである ChromeOS Flex を  
学校の既存のデバイスにインストールすると、  
高速化、セキュリティの強化、サステナビリティの向上につながります。

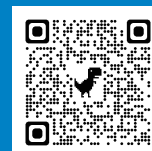


## 学校コミュニティにとってのメリット

- 古くなって利用していない端末を、Chromebook と同様に活用・管理することができます
- 現役のパソコンでもデバイスの起動が速くなるため、授業をスムーズに開始できます
- 直感的なユーザー インターフェースと、バックグラウンドで行われる更新により、授業中に起こりうる作業の中断を減らせます
- ChromeOS Flex で利用したパソコンが買い替えのタイミングになっても、新しい Chromebook でアカウント情報を入力すれば、ほんの数分で同じ環境が使えます
- もちろん、Chrome 同期により、各ユーザーがどのデバイスでも自分だけの設定、ブックマーク、拡張機能も使用可能です



ChromeOS Flex  
詳しくはこちら



## 導入前にチェックしよう!

- Google のサポートを受けるためには、認定モデルリストに掲載されていること、および、ChromeOS Flex を Google 管理コンソールに登録する必要があります
- 次のような便利なヘルプ コンテンツは ChromeOS Flex スタートガイドをご確認ください
  - ChromeOS Flex と ChromeOS の違い
  - 認定モデルリスト
  - 導入のベスト プラクティス など



ChromeOS Flex  
スタートガイド



# 簡単 3 ステップ 試してみよう! ChromeOS Flex

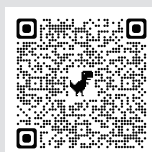


## 01 リカバリ ユーティリティの入手

Chrome ブラウザで Chrome ウェブストアにアクセスし、Chromebook のリカバリ ユーティリティを入手

[goo.gle/crosrecovery](https://goo.gle/crosrecovery)

※リカバリ ユーティリティは Chromebook 以外でも利用可能です。



## 02 USB インストーラ の作成

Chromebook リカバリ ユーティリティを起動し、**[Chromebook の識別]** で **[リストからモデルを選択]** を選び、メーカーで **[Google ChromeOS Flex]**、製品で **[ChromeOS Flex]** を選び続行からインストール用の USB インストーラを作成する。

※8GB 以上の容量の USB ドライブ が必要です。



## 03 ChromeOS Flex を試す

ChromeOS Flex をインストールしたいデバイスに USB インストーラを挿し、USB から起動し **[インストール]** または **[試してみる]** を用途に合わせて選択する。

- ※ USB からの起動には電源を入れたタイミングで、機種別に設定されている起動キーを押す必要がある場合が一般的です。
- ※ USB からの起動には BIOS や UEFI の設定が必要になる場合があります。詳細はデバイスのマニュアルをご確認ください。
- ※ インストールを選択した場合、OS が上書きされます。必要に応じてバックアップを作成することをおすすめします。
- ※ サポートを受けるためにはデバイスを管理コンソールに登録する必要があります。



ChromeOS Flex  
インストール手順

